

# ソフトウェアとデジタルボードのインストール

下記のURLにアクセスするか、右記のQRコードを読み取ることで、簡単な開封紹介の動画を参照することができます。

[www.penpower.net/rmgo](http://www.penpower.net/rmgo)



## タブレット設置

タブレットのUSBポートは、タブレット正面の左側にあります。

同梱されているUSBケーブルを使って タブレットをパソコンに接続してください。ペンが作業領域の上に置かれると、LEDがゆっくりと点滅し、デジタルボードがデジタルペンを感知したことを示します。



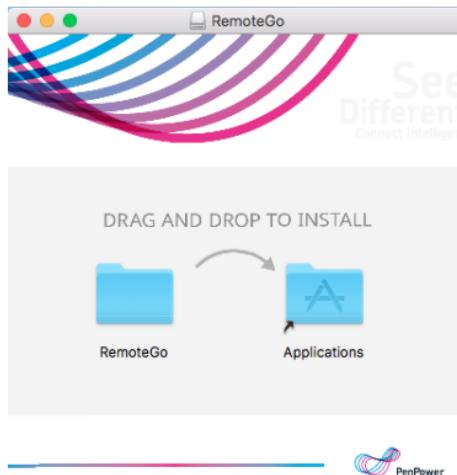
## ソフトウェアのインストール

RemoteGoソフトウェアをダウンロードするには、次のリンクにアクセスしてください：

[d.penpower.net/rmgo](http://d.penpower.net/rmgo)

**Windowsの場合**、ダウンロードしたファイルをダブルクリックしてインストールを開始します。コンピュータを再起動して完了です。

**Macの場合は**、ダウンロードしたファイルをダブルクリックして開き、下図のようにプログラムフォルダをプログラムフォルダを下図のように「アプリケーション」にドラッグしてインストールします。



**注意**：RemoteGoインストールする前に、他のタブレット用ドライバーをアンインストールしてください。

# デジタルペンの使い方

RemoteGoのデジタルペンは、電池を使わずにそのまま使うことができます。

作業範囲内で、タブレットの上から 5mm以内の範囲で移動させると、画面上のマウスポインターがそれに合わせて移動するのがわかります。

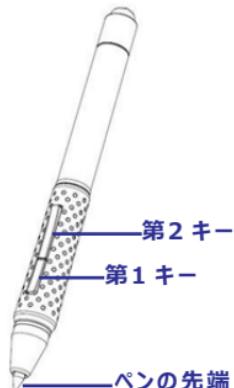
ペン先はマウスの左ボタンのように機能し、ダブルクリック機能も備えています。さらに、デジタルペンには、通常の3ボタンマウスのように機能する2つのキーがあります：

- ペンの先端がマウスの左ボタンに対応しています。
- 第1キー：マウスの右ボタンに対応しています。
- 第2キー：マウスの中ボタンに対応しています。(RemoteGoソフトウェアと併用すると消しゴムのトグルになります。)

**注：デジタルペンは一定期間使用しないとスリープ状態になりますので、使用前にペンの先端をタッチして、省電力モードから復帰させてください。**

一定期間使用していると、リフィルが消耗してきます。このときに同梱されている新しいリフィルと交換してください。その交換方法は以下の通りです：

1. ペン先を交換するツールで慎重に古いリフィルを握り、リフィルを取り外します。
2. 新しいリフィルを底面にゆっくりと挿入してください。強く押しすぎるとペンが破損します。



# RemoteGoソフトウェア機能紹介

RemoteGoソフトウェアは汎用性が高く、さまざまなりモートミーティングソフトウェアに対応しています。また、ショートカットを使えば、遠隔授業や会議で簡単に説明することができます。

## ソフトウェア機能紹介（機能を上から順に紹介します）



1. アノテーションの表示/非表示。クリックすると、すべてのアノテーションの表示/非表示が切り替わります。
2. マウスマード：デフォルトでは、コンピュータを簡単に操作するためのマウスマードが用意されています。
3. 手書きスタイル：豊富な種類の手書きスタイルが選択できます。
4. 消しゴム：画面に書かれた文字の小さな範囲や一筆書きを消すことができます。
5. シンプルなグラフィックス：直線、矢印、円、ボックスなどを描くことができます。
6. 注釈ボックスの挿入：コメントを入力するための注釈ボックスを挿入できます。
7. 手書きの太さ：画面上の手書きの太さを調整します。
8. 手書きの色：画面上の手書き文字の色を調整します。
9. 画面消去：画面上のすべての手書きを消去します。
10. 戻す：前の操作に戻る。
11. ホワイトボードのスタイル：ホワイトボード、黒板、議論用ホワイトボード<sup>(注1)</sup>。
12. クラウドホワイトボード機能は、1対1の遠隔会議の利便性を提供します。
13. Webカメラ：Webカメラの設定と有効化を行います。
14. レーザーペン：カーソルをレーザーペンに変更し、書き込み時にドラッグ効果があります。

15. 画面キャプチャ：画面をキャプチャする範囲を選択します。
16. 拡大鏡：画面上の特定の場所を長押しすると、その部分が拡大表示されます。
17. 画面記録：[画面記録<sup>\(注2\)</sup>](#)を撮って、操作を記録します。
18. 設定：ショートカット<sup>(注3)</sup>やファイルの保存先を変更することができます。

**注1：**議論用ホワイトボードの使い方はまず、画面で質問を選択し、ホワイトボードモードに入ります。このとき、質問がホワイトボードに表示されます。その問題を解く過程をホワイトボードに書き出して、生徒にデモンストレーションすることができます。より詳細な使用方法については、最後のページにあるFAQリンクを参照してください。

**注2：**記録するさまざまな画面範囲を選択することも、特定のソフトウェアインドウに対してのみ記録することもできます。設定後、RECボタンをクリックして録音を開始します。コースの内容やその他の操作を事前に記録することができます。詳細な使用法については、最後のページにあるFAQリンクを参照してください。

**註3：**ショートカットキーをお好みのキーの組み合わせに設定することで、機能の切り替えをスピーディーに行うことができます。詳細な使用法については、最後のページにあるFAQリンクを参照してください。

**ヒント：**画面上で右クリックすると、機能のメニューを呼び出せるので、ソフトウェアのタスクバーのアイコンをクリックする必要はありません。

## クラウドホワイトボード機能を使う

クラウドホワイトボード機能は、1対1の遠隔会議の利便性を提供します。クラウドのホワイトボードを開き、専用のリンクから他の人を招待することで、ホワイトボード機能を使って説明や議論を楽しめます。

クラウドホワイトボード機能を起動すると、ホワイトボードを開いてリアルタイムに参加者を招待することも、事前に招待情報を提供しておいて、合意した時点でホワイトボードを作成することもできます。

参加者がホワイトボードに参加したい場合、RemoteGoがインストールされていれば、クラウドホワイトボード機能をオンにして、提供したクラウドホワイトボードIDを入力するだけです。参加者がRemoteGoをインストールしてない場合は、Webページを使用してクラウドホワイトボードに参加することもできます。

また、クラウドホワイトボードの作成者は、参加者のアバターの横にある●ボタンをクリックすることで、参加者をクラウドホワイトボードから外すことができます。

⚙️ディスカッション中には、アバターの横にある「デバイス設定」ボタンをクリックして、スピーカー、マイク、ビデオカメラの設定を調整することができます。

クラウドホワイトボードは、複数のページを追加することができます。左側のページ欄では、いつでもページの追加や削除、表示ページの切り替えができるほか、下のブラウズ機能バーからページの切り替えや拡大・縮小が可能です。

一方のページを画面サイズ以上に拡大すると、右上の「Mini Map」ペインで相手が見ている場所を知ることができます。ブラウジング機能バーの「同期を表示」ボタンで素早く相手へ移動することができます。また、「Mini Map」の表示枠をマウスでドラッグすることで、表示範囲を移動することができます。

## Microsoft Office の手書きマーカー機能を使う

RemoteGoソフトウェアをインストールし、デジタルボードを接続すると、Word/ Excel/ PowerPoint などの Microsoft Officeソフトウェアの上部ツールバーの「レビュー」セクションに「書き始める」という機能が表示されます。新しいバージョンのOfficeアプリケーションが直接表示されます「描画」ブロック。



この時にRemoteGoソフトウェアを起動する必要がなく、直接この機能を使用することができます。ファイルに手書きの注釈を入れて、アーカイブしておくことができます。

## デジタルボードのショートカットキーの使い方

デジタルボードの作業領域の下には、12個のショートカットキーがあり、**左から右へ**と機能が並んでいます：

ショートカットキー番号	対応するホットキーの組合せ	対応機能記号	対応機能
1	Shift + F1	○	注釈を隠す/表示する
2	Shift + F2	←	カーソル
3	Shift + F3	万年筆	
4	Shift + F4	レーザーポインター	
5	Shift + F5	リバート	
6	Shift + F6	画面キャプチャ	
7	Shift + F7	REC	ビデオを起動/停止
8	Shift + F8	▶	ビデオの一時停止/続行
9	Shift + F9	[x-y]	議論用ホワイトボード
10	Shift + F10	赤い	赤い手書き
11	Shift + F11	黒い	黒い手書き
12	Shift + F12	マテイ・ブルー	青い手書き

## よくある質問と詳細情報

詳しい情報やFAQについては、

<https://remotego.zendesk.com> のFAQセクションをご覧いただくか、このページの右上にある「リクエストの送信」機能を使ってお問い合わせください。

